



































sXGPの試験を実施して

- ■従来のPHSと比較して
 - 通話品質は問題なし
 - 通常のスマホが利用できるので、通話だけでなく医療情報システムもそのまま利用できる
 - カバレッジについても同様にカバーされた
- ■WiFiと比較して
 - 混信しないための複雑なチャネル設計が不要
 - 1フロア20台のAPが、2台のAPでもカバーできる
 - データ通信については電子カルテの運用も問題なし



sXGPに期待すること

- WiFiと違って電波干渉を気にしなくてよい
- スマートフォンが端末になるので、ナースコールとの連携だけでなく、電カルの利用やバイタルデータ取得にも使える
- スマホのアプリが利用できるので、メールやカレンダーなどもPCとも共有できる
- Dual-SIMにより、病院外でのキャリアのLTE ともローミングによりシームレスに利用できる





